

● 草の根パートナー型

2014年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ブータン
2. 事業名	ブータン王国八地域における地域に根ざした持続可能な観光開発と人材育成プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	八県は、Toorsa厳正自然保護区やチエレ・ラ峠などの豊かな自然や、ヤクや牛の遊牧等ユニークな伝統文化を持つ一方、政府観光局の観光客誘致にも関わらず、近隣のバロやティンブーと比較し、その観光客数は10分の1ほどと少ない。 ブータン政府は地域に根ざした持続可能な観光（CBST）の開発を奨励しつつ、観光関連機関に十分な知見がなく、2011年5月から実施されている「ブータン王国ボブジカにおける地域に根ざした持続可能な観光の開発プロジェクト」以外、成功事例がなく、技能の向上が求められている。
4. プロジェクト目標	八県をモデルとした、地域に根ざした持続可能な観光開発の仕組みが構築され、ステアリング・コミティの関係機関・団体がCBST開発の能力を身につける
5. 対象地域	ブータン王国八県ブジ郡及びエス郡
6. 受益者層（ターゲットグループ）	八県ブジ郡、エス郡の地域住民500世帯（約2,000人）
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本事業に関するプロジェクトチームとして、地域に根ざした持続可能な観光（CBST）に関するステアリング・コミティが八県に設置され、事業の方向性が明らかになる 2. 八県において、地域に根ざした持続可能な観光プログラムが開発される 3. 旅行者や関係機関を通じて八県のCBSTを含めたツアーが開発される 4. 八県のCBSTの運営体制が整備される 5. 八県のCBST事業のモニタリング、社会経済調査の実施過程でブータンの他地域におけるCBST開発に関わる人材が育成される <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.1. 関係各機関の代表者の集まりによるステアリング・コミティを結成する 1.2. 対象地域におけるベースライン調査を実施する 1.3. 八県の観光資源を関係者間で共有するワークショップを開催する 1.4. 八県のCBSTの方向性について関係者間で合意したガイドラインが作成する 2.1. ホームステイ研修を実施する 2.2. ローカルガイド研修を実施する 2.3. 八県に由来したお土産品の開発及び生産者の育成を行う 2.4. コミュニティ・センターの設置・運営を行う人材を育成する 2.5. 八県発着の日帰りベースのCBSTツアーを開発する 3. パンフレットやwebのようなツールを作成し、八県のCBSTに関するプロモーションを行う 4.1. 八県のCBSTのビジネスプランを作成する 4.2. 八県のCBSTを運営し、ビジネスプランを実施する運営委員会を設置する 5.1. キャリング・キャパシティの分析調査を実施する 5.2. ボブジカ、八県において、社会経済調査を実施する 5.3. モニタリング会合を開催する 5.4. 中間時、終了時評価を実施する 5.5. ステアリング・コミティ会議の指導により、東部3県のCBST企画提案書を作成する
8. 実施期間	2015年1月15日～2018年1月14日（3年）
9. 事業費概算額	49,579千円
10. 事業の実施体制	ブータン王立自然保護協会（RSPN）
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	公益社団法人日本環境教育フォーラム（JEEF）
2. 活動内容	環境教育の普及、自然学校の普及、途上国の環境教育支援を通して世界の課題である持続可能な社会づくりに貢献する